

## 自治体 DX セミナー



2022.6.29~7.1 東京ビッグサイト

主催：自治体公共 Week 実行委員会

後援：総務省、全国市長会、全国町村会

## 地域の観光づくり

2022年6月30(木)12:00~12:45

ポストコロナを見据えた地域観光づくり

観光庁

観光地域振興部 観光地域振興課

観光地域づくり法人支援室長

後藤 章文

- ・住んでよし、訪れてよしの観光地域づくり

旅行者←地域の魅力向上による更なる誘客←自らの文化・ほこり

↓

↑

観光で地域を訪問→ 地域における当たり前の日常 →あこがれ

「第二のふるさとづくりプロジェクト」

- ・新型コロナウイルスによる変化

日本人の旅行者が密を避ける

近隣地域 マイクロツーリズム

混雑を避ける

テレワークの普及によりワーケーション

- ・観光関連事業者への多面的な支援

- ・当面の観光政策の考え方

1. 国内交流の回復・新たな交流市場
2. 観光産業の変革
3. 交流拡大によりみがきをかける
4. 国際交流の回復・質的な改革

観光

- ・第二のふるさとづくりプロジェクト（何度も地域に通う旅、帰る旅）



モデル事業選定 全国19（栃木県は那須町）

- ・アフターコロナの地域活性化と観光事業の方向性
- ・地域一体となった観光地の再生・観光サービスの高付加価値化
- ・地域独自の観光資源を活用した商品開発
- ・観光のデジタル実装
- ・インバウンド再開に向けた取組
- ・明日の日本を支える観光ビジョン

観光の四要素 気候、自然、食、文化 日本とフランス

ウリ、ヤド、ヒト、カネ

持続可能な観光への取組

- ・オーバーツーリズムの未然防止

Ex 京都、鎌倉、沖縄

時間・季節・場所の分散

- ・観光地域づくり法人（DMO）の形成、確立

観光地域づくり法人への支援

宿泊施設の再生が大事

## 教訓から取り組む地域防災

14:00~14:45

「防災環境都市・仙台」の挑戦 ～復旧・復興から未来へ～

宮城県仙台市

市長 郡 和子

### 1. 防災環境都市とは

防災環境都市・仙台 ～経験をつなぎ、そして未来へ～

仙台市は、東日本大震災を経験し、都市がさまざまな災害の脅威にさらされていることを改めて認識した。この経験や教訓を踏まえ、将来の災害や気候変動などに備えるため、「壮の都」の豊かな環境を生かしながら、しなやかで災害に強い都市を目指す「防災環境都市」づくりを推進。

### 2. 2030年に向けた3つのグローバルアジェンダの一つ「仙台防災枠組」の採択

世界の防災文化への貢献・都市ブランドの確立

- ・地域住民による主体的活動（共助）が被害の軽減
- ・顔の見える関係性
- ・ライフラインの強靱化
- ・指定避難所のエネルギー対策

- ・地域版防災マニュアル
- ・教育カリキュラムに防災・減災
- ・国際会議で発信、共有

### 3. 2030年に向けた取り組み

The Greenest City SENDAI

自然が持つ多様な環境・防災      BOSAI-TECH

防災

SENDAI BOSAI-TECH

テクノロジー

ビジネス

「完全自立型津波避難広報ドローン」      世界初

安心・安全が済む、訪れる、働く。

## 自治体 DX の推進施策

7月1日(金)9:30~10:15



### デジタル構造改革の現状と今後の展望

デジタル庁 統括官

国民向けサービス長 村上 敬亮

行政に課された新たな課題、人口減少での生産性

#### ① 労働生産性の伸び悩み

サービス業の生産性停滞を打ち破る、社会経済構造の変革が必要か？

#### ② 地域に残るサービス業は生産性が低い

多様性、創造性の発揮

・シェアードエコノミー（サーキュラーエコノミー）への移行

・デジタル技術を活用し、共助のビジネスモデルなどを積極的に活用

大きな変化 供給が需要に合わせる経済へ

人口増加局面 ⇒ 人口減少局面

需要が供給に合わせる 供給が需要に合わせる

共助のビジネスモデルの必要性

人口増加期 人口減少期

膨らむ市場 頭打ち市場

現状をどう見るか

Well Being

デジタル田園都市

都市部の閉塞感こそ、地方のチャンス（多様な人材が地域に流れる）

プロジェクトの組成は人を集めるための手段

多様かつ創造的な人材を地域に集める場所を作る

ベンチャーを育てながら、ローカル経済圏全体を盛り上げる

例) 香川県みとよ市

・行政組織の内部論をいくらやっても限定的な Transform しか散見しない

北海道さろべつ村

- ・ Well-Being が全体の基礎

- ・ 行政の役割 「インフラ」と「つながり」の絶えざる改善の基点となる

#### 行政サービスの再設計

- ・ 行政サービスの足腰を鍛えなおす

上土幌町

- ・ 行政サービスを次世代型にイノベーションする

半官半民 海士町

- ・ そのためのアクションプランの構築



## 未来を創る地域防災

12:00~12:45

頻発する自然災害に対する備えについて

熊本県人吉市

市長 松岡 隼人

人吉市区

400年間で106回の洪水、昭和の時代に40回の洪水 昭和40年、57年

### ・治水対策

球磨川推計流域治水

### ・当時の水流

30mmを超える雨量が8時間以上続いた

観測開始以来最高

### ・災害の概要

約518ha 4681戸浸水

災害が奪ったもの

人命、もの、仕事、生きてきた証、交流、時間、平和

二度とこのような大災害を繰り返してはならない

### ・市の対応 7月3日~4日 球磨川タイムライン

・具体的な避難の時期と状況

3日夕方	4日未明	4日朝
晴山間	避難指示・勧告	浸水
高齢者避難	避難指示	人命救助

まさか＝昭和40年洪水という呪縛⇒脱却

なぜ逃げなかったのか？

あれより酷い水害は無いだろう→あってほしくない

↓

人吉市の意識と判断基準はここに設定されていた

↓

意識を変える

備え

・迅速な避難準備

マイタイムライン×行政からの避難誘導

・自主防災組織の確立

防災計画等策定⇒災害に合わせた現実的な計画

評価→活用→課題・問題

※人吉市防災アラートシステム

何度でも、何度でも

自分の家が

何時頃から浸水がはじまり、

何メートル浸水するのか